

サステナビリティマネジメント

企業ステートメント

クラレグループ行動規範

コンプライアンス・
ハンドブック

トップステートメント

サステナビリティ
マネジメントサステナビリティマネ
ジメント・推進体制クラレグループのマ
テリアリティ

活動目標と成果

リスクマネジメント・
コンプライアンス

品質マネジメント

安全報告

環境報告

社会性報告

コーポレート・
ガバナンスGRIスタンダード対照表
(内容索引)クラレレポート /
バックナンバー

ランドセルは海を越えて

サステナビリティマネジメント・推進体制

活動目標と成果

品質マネジメント

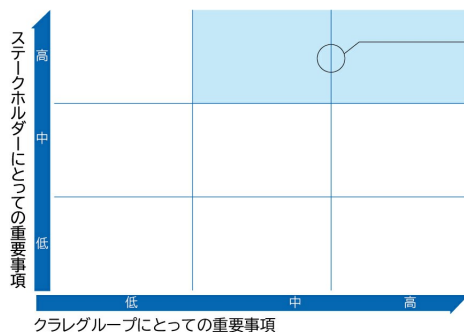
クラレグループのマテリアリティ

リスクマネジメント・コンプライアンス

クラレグループのマテリアリティ

企業活動に対する社会からの要請が多様化する中で、クラレグループは国際標準とされるガイドラインに準拠しつつ、重要度の高い取り組みを明確化すべく、マテリアリティ（重要課題）の特定を実施しています。

クラレグループのマテリアリティマップ



マテリアルな項目(18件)

経済 経済パフォーマンス**環境** 原材料／エネルギー／地域における水源／
大気への排出／排水および廃棄物／
製品およびサービス／環境全般**労働慣行** 雇用／労働安全衛生／研修および教育／
多様性と機会均等**社会** 地域コミュニティ**製品責任** 製品およびサービスのラベリング／顧客の安全衛生／
保安防災／物流安全／化学品・製品安全

特定したマテリアリティの各項目については、活動目標に反映させ、成果の創出に向けてマネジメントを行っています。

クラレグループのマテリアリティ見直し

現在、クラレグループのマテリアリティの見直しをおこなっています。今回の見直しでは、2015年9月の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」からクラレグループが貢献可能な項目も取りこみ、2019年度中に決定します。また今後定期的な見直しを実施する予定です。

1 社会課題の設定

- GRIを中心に様々なガイドラインから、経済、社会、環境などの分野における社会課題を抽出
- 欧米メンバーもプロジェクトに参画し、「循環型経済」や「海洋プラスチック問題」等の社会課題を提案

2 SDGsの取り込み

- クラレグループが貢献可能な項目を取り込む

3 マテリアリティ分析・選定

- ステークホルダーの期待、クラレグループにとっての重要度を軸にマテリアリティを分析
- 事業責任者を含む拡大CSR委員会でマテリアリティ分析結果を討議(2018年度)
- 拡大CSR委員会で再協議後、役員会を経てマテリアリティを選定する(2019年度)

4 KPI決定・社内浸透

- マテリアリティについてKPIを設定
- 拡大CSR委員会メンバーを中心にワークショップを開催
- 東京・大阪両本社および国内事業所にて説明会を実施(海外は2020年以降)

定期的な見直し

社会情勢・ステークホルダーからの期待の変化、クラレグループにとっての「機会」と「リスク」の変化をタイムリーにマテリアリティに反映し、効果的なリソース投入を目指す



企業情報

製品情報

研究開発

サステナビリティ

投資家情報

会社概要

事業から探す

基本方針

企業ステートメント

経営方針

ごあいさつ

製品名から探す

技術と製品

クラレグループ行動規範

IRニュース

企業ステートメント

キーワードから探す

組織・体制

クラレグループ人権方針

クラレって？

役員

製品のはてな

歴史

トップステートメント

業績・財務情報

組織図

トピックス

サステナビリティ長期ビジョン・サステナビリティ中期計画

IRライブラリー

沿革

主な受賞歴

主要グループ拠点

会社案内動画

テレビ番組動画

広告ギャラリー

クラレグループのマテリアリティ

IRカレンダー

よくあるご質問

Planet

Product

People

ガバナンス

GRIスタンダード対照表（内容索引）

クラレレポート（統合報告書） / サステナビリティウェブサイト

ランドセルは海を越えて

イニシアティブ